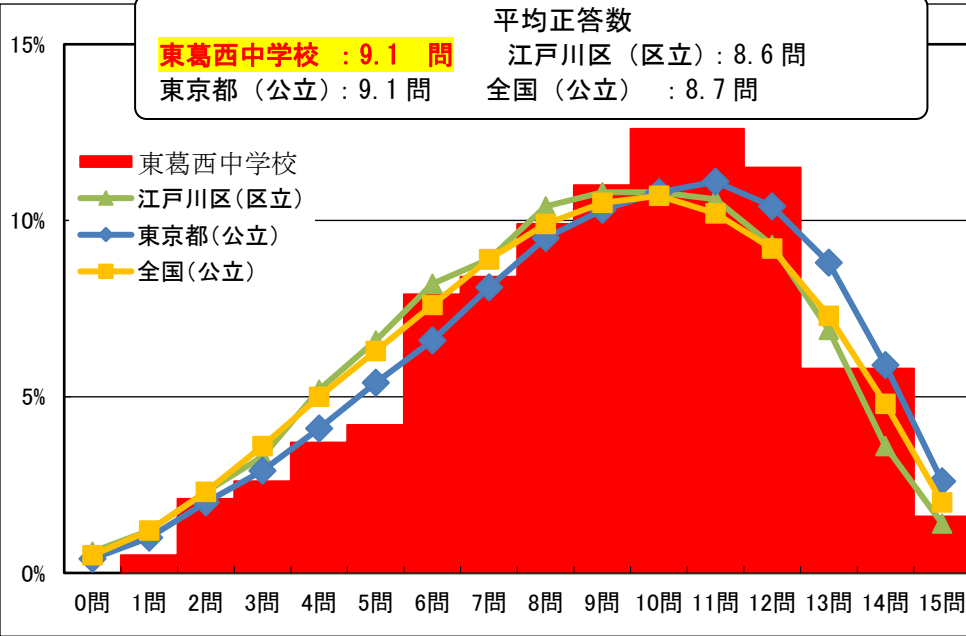
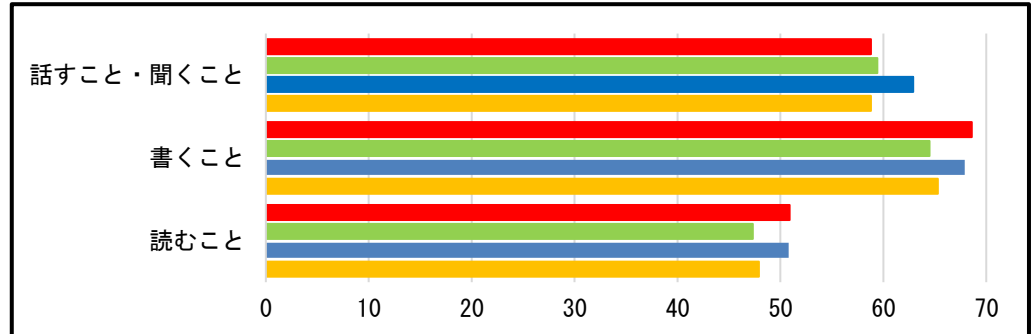
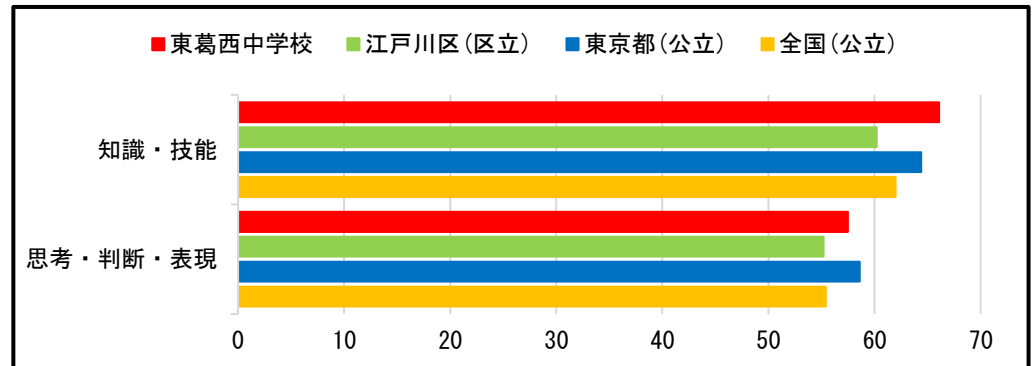


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 東葛西中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	← 上位 → 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
東葛西中学校	24.7	36.2	18.3	21
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

東葛西中学校	61%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	0ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

正答率は全国・区を上回り、都と同じであった。評価の観点における「思考・判断・表現」が都の平均を下回った。生徒自ら考え課題を解決し発表するプロセスの中で指導の質を高めていきます。学習指導要領の領域については「話すこと・聞くこと」が都の平均正答率を下回ったことから、同内容の場面を意図的に増加させ、個別指導などきめ細やかな指導を行っていきます。併せてC・D層をさらに減少させることを目標とした授業改善を進めていきます。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。